

【外皮性能】簡単モードで高さの数値をリセットする方法

文書管理番号：1296-01

Q. 質問

外皮性能計算の簡単モードで、高さの数値が合わない。

リアルタイム3Dビューアで、1階と2階の外壁に重なりや隙間ができる。

A. 回答

(外皮性能計算)を実行後、(高さ設定)で建物の高さを変更した場合、外皮性能計算で高さ情報は自動で更新されず、各部位の高さや面積の相違や、リアルタイム3Dビューアで上下階の外壁に重なりや隙間ができることがあります。

断熱情報

壁番号	方位	仕様	面積	計算式
19	北西	S04:外壁 グラスウール16K 100mm	25.676	$8.190 \times 0.570 + 8.190 \times 2.565$

↑変更後の高さが採用されず、計算式・面積が異なる

左ドラッグ：建物中心回転 右ドラッグ：建物回転視点位置移動 中ドラッグ：上下左右移動 (Shiftキー併用でマウス操作を切り替えます。)

そのため、(外皮性能計算)を実行後、(高さ設定)で高さを変更した場合は、外皮性能計算で設定されている高さ情報をリセットし、(高さ設定)の「階基準高さ」の数値を再取得します。

操作手順

① (基準高さ) をクリック

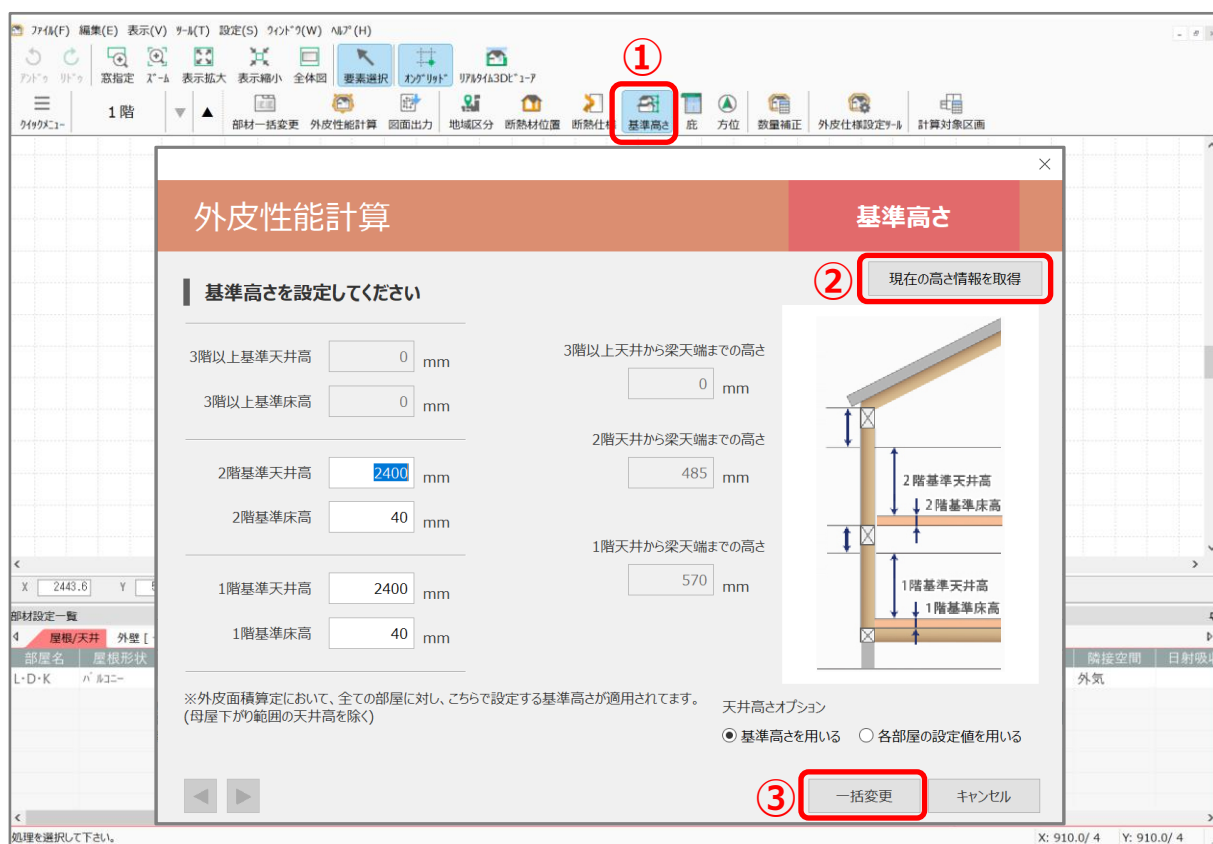
* 基準高さの画面が表示されます。

② 「現在の高さ情報を取得」をクリック

* 各階の基準床高や天井高、天井から梁天端までの各高さが、高さ設定の階基準高さで設定している数値に自動更新されます。

③ 「一括変更」をクリック

* 取得した高さ情報の設定値が反映します。

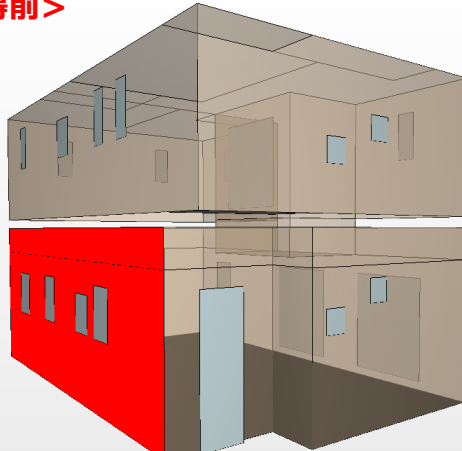


* リアルタイム3Dビューアでは、上下階の壁の重なりや隙間が解消します。

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 設定(S) ヘルプ(H)

メニューアイコン: 表示拡大 表示縮小 初期画面 視点前進 視点後退 視点(上) 視点(下) 視点(左) 視点(右) X軸回転 Y軸回転

<高さ情報取得前>



←隙間

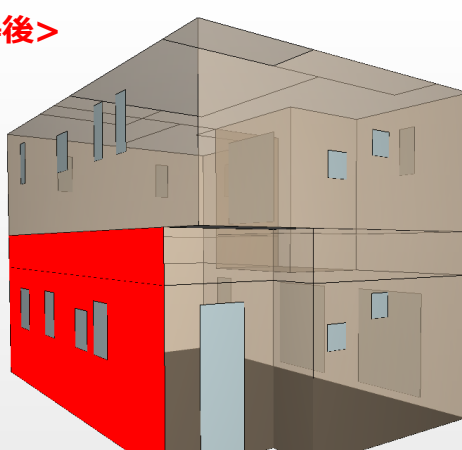
壁番号	方位	仕様	面積	計算式
19	北西	S04:外壁 グラスウール16K 100mm	25.676	$8.190 \times 0.570 + 8.190 \times 2.565$

左ドラッグ: 建物中心回転 右ドラッグ: 建物回転視点位置移動 中ドラッグ: 上下移動 (Shiftキー併用でマウス操作を切り替えます。)

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 設定(S) ヘルプ(H)

メニューアイコン: 表示拡大 表示縮小 初期画面 視点前進 視点後退 視点(上) 視点(下) 視点(左) 視点(右) X軸回転 Y軸回転

<高さ情報取得後>



←隙間が解消

壁番号	方位	仕様	面積	計算式
19	北西	S04:外壁 グラスウール16K 100mm	27.314	$8.190 \times 0.770 + 8.190 \times 2.565$

左ドラッグ: 建物中心回転 右ドラッグ: 建物回転視点位置移動 中ドラッグ: 上下左右移動 (Shiftキー併用でマウス操作を切り替えます。)